

2008年6月(先月の重大ニュース)

子ども1725万人、27年連続減る

全国の子どもの数(15歳未満の人口)は4月1日現在の推計で1725万人、と総務省が発表した。前年より13万人減り、減少は27年連続となった。総人口に占める子どもの割合は13.5%で、34年連続で低下した。(4日)

宇宙の防衛利用、解禁へ

防衛目的の宇宙利用を解禁する「宇宙基本法案」が、衆院内閣委員会で可決した。法案は今の国会で成立する見通し。これまで宇宙開発について政府は、平和目的に限るとした1969年の国会決議をもとに「非軍事」の原則をとってきた。法案は、他国への「侵略」でない防衛目的の利用をできるようにする。政府が許していなかった自衛隊による衛星保有や高性能の偵察衛星の導入に道を開くことになる。(9日)

常用漢字の追加候補218字公表

文化審議会国語分科会の漢字小委員会が、常用漢字に新たに加える可能性がある候補218字を公表した。これをたたき台として議論を重ね、10年に新常用漢字表(仮称)の制定をめざす。218字には、動物名では虎、亀、鶴、鷹など、体の名称では尻、膝、股、眉などが含まれている。(12日)

小中学生「携帯ダメ」と提言

政府の教育再生懇談会は、子どもを有害情報から守るために「小中学生に携帯電話を持たせない」との提言を、5月末の中間報告書に盛り込む方針を決めた。強制力はないが、保護者をはじめ社会に対するメッセージとする狙いがある。有害情報対策としては、小中学生に携帯電話を持たせないことを原則としたうえで、携帯電話会社などに通話と居場所確認機能に限定した小中学生向け携帯の開発を求める閲覧制限(フィルタリング)の機能を付けることを法的に義務づけるとの案を了承した。(17日)

文科省、「竹島は日本領」明記へ

文部科学省は、12年春から全面実施される中学の改訂学習指導要領の解説書で、韓国と領有権を争っている竹島について「我が国固有の領土」と明記する方針を固めた。7月ごろまでにまとめる予定。解説書は、教師が授業をするときの指針になり、出版社が教科書作りの参考にしているもの。法的拘束力はないが、教科書編集などに影響を与えそうだ。(18日)

学校選択制の導入広がらず

入学する公立小中学校を自由に選べる学校選択制の導入が広がっていないことが、市や区の教育委員会に対する内閣府調査(2007年10~11月)でわかった。導入率は小学校14%、中学校17%で06年と同じ。導入を「検討中」とした小中学校は、18%台から9%台に半減した。「導入も検討もしていない」のは小学校75%(前年66%)、中学校73%(同65%)と増えた。「導入して悪かった点」を複数回答で聞くと、中学校については「通学距離が長くなり、登下校時の安全確保が難しくなった」が最多で44%。「学校と地域の連携が希薄になった」(28%)などが続いた。(23日)

学校裏サイト管理人に賠償命令

大阪市に住む女子中学生が、インターネットの「学校裏サイト」掲示板で中傷の書き込みを放置され、精神的苦痛を受けたとして、掲示板の管理人の20代男性に慰謝料など220万円の賠償を求めた裁判で、大阪地裁は55万円の支払いを命じる判決を言い渡した。生徒は06年8月、実名をあげて「うざい」「ブス」など88回の書き込みをされた。管理人は翌月、学校側から削除を求められたが、さらに2か月後に警察に相談した両親が依頼するまで放置。生徒は転校した。(23日)